

平成19年度 事務事業評価表		担当	消防本部 予防課				内線等	2112
事務事業名	防火施設確認事務事業				事業コード	5 . 義務的事業		
根拠法令等	消防法				A 法令			

総合計画での位置付け

基本目標	3 . 健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	消防・救急
------	----------------------	-----	-------

事務事業の内容

対象（受益者）	消防用設備等の設置者に対して
手 段	消防用設備等が技術上の基準に従って設置されているかどうか確認することにより
想定する成果	防火上の観点から火災発生時における被害の軽減を図る。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
消防設備の設置届出数	76件	76件	
消防用設備検査済証発行数	49件	36件	
着工届出数	105件	103件	
消防同意による指導件数	76件	76件	

成果指標

成果指標名	消防用設備の設置届出件数	消防同意による指導件数率
成果指標の説明	消防用設備の設置届出件数	消防同意による指導件数 ÷ 消防設備の設置届出数

事業の進捗状況 (一般 会計) (単位：千円)

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		76件				76件							
成果指標		100%				100%							
事業費	事業費	85				80				67			
	人件費	10,898				10,934				7,845			
	(人数)	正規	1.4	非常勤	0.0	正規	1.4	非常勤	0.0	正規	1.0	非常勤	0.0
	合計	10,983				11,014				7,912			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	10,983				11,014				7,912			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	3	3	3	3	新設・既設の消防用設備の維持管理について、適切な指導を行う。
経済効率性	3	3	3	3	投入された予算に見合った成果を上げている。
事務効率性	3	3	3	3	設計士に対し新築・増築・改築等について事前相談を行い消防同意による建築許可等の事務効率を図っている。
必要性	-	3	-	3	義務的事業
小計	9	12	9	12	
施策への貢献度	3	-	3	-	防火上の安全が確保できる。
合計	12	12	12	12	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	A	A
------	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
上記改善点の実施状況

今後さらに改善すべき点

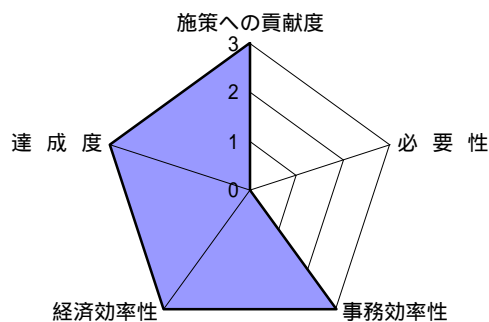
平成21年度予算に反映する項目

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点